

一日も早い拉致被害者の救出にむけて！

政府主催

# 国際シンポジウム

圧力強化の先に見えるもの—制裁の効果と今後の展開

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」関連行事

日時

平成29年 **12月16日**(土)  
14:00~16:30(13:00開場)

参加者募集  
入場無料  
(定員400名)

場所

丸ビルホール  
(東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7F)

主催

政府拉致問題対策本部、法務省

後援

文部科学省

## <プログラム>

第1部：北朝鮮人権侵害問題啓発週間・作文コンクール表彰式

第2部：国際シンポジウム

第3部：ミニコンサート

(内閣官房拉致問題対策本部事務局・特定失踪者問題調査会共催・)

北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」共同公開収録)

詳しくは

<http://www.abductees2017.com/>

または

政府拉致問題

検索

## 主催者より

北朝鮮は拉致問題に真摯に取り組まないばかりか、核実験や弾道ミサイル発射などの暴挙を繰り返しています。拉致・核・ミサイル等の北朝鮮を巡る諸問題を解決するには、国際社会が固いスクラムを組んで北朝鮮に対して最大限の圧力をかけ、その政策を変更させる必要があります。本年9月、北朝鮮に対して格段に厳しい制裁措置を科す安保理決議が全会一致で採択されました。国際社会が一糸乱れずに同決議を確実に履行していくことが重要です。日本政府としては、このような厳しい圧力をテコとして、北朝鮮から拉致問題の解決に向けた具体的な動きを引き出すべく全力を尽くしてまいります。こうした観点から、本年の北朝鮮人権侵害問題啓発週間・政府主催国際シンポジウムにおいては、北朝鮮情勢に詳しい内外の有識者を招いて、安保理決議等の制裁をはじめとする圧力強化の効果や今後の北朝鮮情勢の展開を議論し、一日も早い拉致被害者の帰国の実現につなげていきたいと考えています。

## 国際シンポジウム

**テーマ** 圧力強化の先に見えるもの—制裁の効果と今後の展開

**プログラム(予定)**

13:00 開場

14:00 開会

**第1部 北朝鮮人権侵害問題啓発週間・作文コンクール表彰式**

**第2部 国際シンポジウム**

(1)主催者挨拶(加藤勝信 拉致問題担当大臣)

(2)基調講演(国連北朝鮮人権状況特別報告者 トマス・オヘア・キンタナ氏) (調整中)

(3)パネル・ディスカッション

<モデレーター> 慶應義塾大学准教授 磯崎敦仁氏

<パネリスト> 韓国延世(ヨンセ)大学教授 イ・ジョンフン氏

米国ジョンス・ホプキンス大学米韓研究所副所長 ジェニー・タウン氏

東京国際大学教授 伊豆見元氏

**第3部 ミニコンサート**

( 内閣官房拉致問題対策本部事務局・特定失踪者問題調査会共催・  
北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」共同公開収録 )

あなたを忘れないを歌う会、山口采希、宇佐美由美子、saya

16:30 閉会



拉致問題担当大臣  
加藤勝信



慶應義塾大学准教授  
磯崎敦仁氏

## 申し込み方法

■ ホームページ、Eメール、FAXのいずれかでお申し込みください。

※事前に、Eメールにて「入場整理券」をお送りしますので、当日受付へお持ちください。

なお、申込受付は、先着順とし、定員に達し次第、締め切りますので、ご了承ください。

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」政府主催国際シンポジウム事務局

ホームページ ▶ <http://www.abductees2017.com/>

Eメール・FAX ▶

①ご所属、②ご氏名(ふりがな)、③電話番号、④Eメールアドレスまたはご住所、

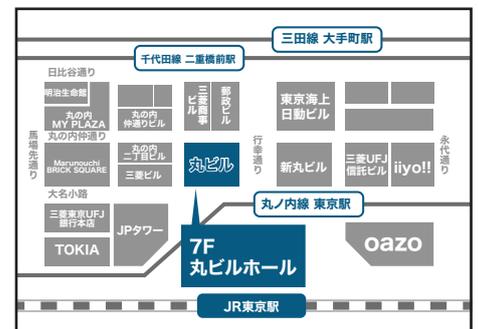
⑤同伴者名(何人でも可。ふりがな付き)をご明記の上、

Eメール([info@abductees2017.com](mailto:info@abductees2017.com)) または

FAX(03-3230-4507) までお送りください。

**申し込み締め切り日 12月12日(火)**

## アクセス



JR「東京駅」(丸の内南口) 徒歩 約1分  
・地下鉄 丸の内線「東京駅」地下道經由 直結  
・地下鉄 千代田線「二重橋前駅」直結

## 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

拉致問題を含む北朝鮮による人権侵害問題についての国民の関心と認識を深めるため、毎年12月10日から16日までの1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」として定められています。

